

冬ならではの！ 野生動物の足跡を見つけよう

この季節は雪が積もると足跡を見つけやすいため、さまざまな動物の気配を感じることができます。動物の足跡や食事の形跡、フン等の情報から動物の生態を推理して楽しむことを「アニマルトラッキング」と言います。洞爺湖有珠山ジオパークで、比較的に見つけやすい動物の足跡を紹介します。

足あとクイズ

洞爺湖有珠山ジオパークで見られる動物の足跡です。

どの足跡がどの動物か、ヒントを読んで推理してみましょう！
答えはページの下部にあります。

①



足跡の大きさ約5cm。イヌ科。まっすぐ直線的に歩くことが多い。ノネズミをよく食べるが、昆虫や魚、果実、農作物を食べることも。

②



足跡の大きさ約4cm。ふらふら歩くことが多い。ノネズミ、ミミズ、カエルや果実も好き。同じ場所に繰り返しフンをする習性がある。

③



足跡の大きさ約7cm。2つの大きな蹄の後ろに、「副蹄」と呼ばれる小さな跡が見える場合もある。群れで行動する。たくさんの足跡が重なるとヒグマの足跡に間違われることがある。

④



上の2つが後ろ足、小さい2つが前足。後ろ足の大きさ約16cm。植物の葉、茎、芽を食べる。毛色は、夏は褐色、冬には白色になる。足がとても速い。

⑤



足跡の大きさ約2～3cm。肉食でノネズミ、鳥・魚・両生類も食べる。もともと北海道にいた種類と、毛皮生産のために持ち込まれ、野生化したものがある。

答え：①キタキツネ ②エゾタヌキ ③エゾシカ
④エゾユキウサギ ⑤イタチの仲間



野生動物は、寄生虫や病気を持っていることがあります。かわいいと思っても、餌付けはしないでください。